

平成28年度 採材検討会



平成28年9月9日（金）、紫波町の山王海国有林において採材検討会を実施しました。

生産請負を担当している4つの事業体とそれぞれの事業の監督を行っている森林官の5グループに分かれて、採材検討に用意されたスギ5本、アカマツ5本を有利な販売に向けた4m採材について検討しました。実際

に造材した後、買い手側である製材所や流通業者から採材についての講評がありました。買い手側としては「4m材は曲がりや節がない状態であることが大前提であるため、無理に4m材にしなくても良い」という意見でした。



盛岡森林管理署としては4m材を多く採材し、長材比率を向上させ一般用材の割合を増やすことで経済的価値を高めていきたい考えていますが、材の形質（曲がり、節等）を適切に判断して採材を行うことが重要であることを再認識しました。



実際に普段の生産現場において、厳密な採材を行うことは困難ではありますが、検討会を重ねることで木材用途に適した付加価値の高い丸太の材の採材方法が定着し、よりよい材の供給に努めていきたいと考えています。